

五一中 (バスケット) 東北大会で 堂々の優勝

——全国大会 二回戦で惜敗——

全国大会への道程

五城目一中 籃球部 (男)

本県三九校、東北一、七一九校全国二、三〇校の中学校がある。それぞれの地域で、一本の大優勝旗をめざして展開された長く、厳しい道程をたどってみると

全県大会 (7月26日、28日)

●決勝

五・中68 (36-27) 64琴丘中

東北大会 (山形市8月9日、11日)

●予選リーグ (山形工体育館)

五・中95 (46-18) 31福岡

予チームとして初の全国大会出場

(岩手一位)

五・中91 (43-15) 30湊中

●準決勝 (宮城二位)

五・中48 (22-19) 40三本木中

●準々決勝 (青森一位)

五・中67 (34-29) 61琴丘中

●決勝

五・中67 (33-32) 61琴丘中

今大会初の県同志の決勝となったが、総合力に優る五一中が、あふなげなく王座につき、本県男子チームとして初の全国大会出場

をきめた。

全国大会

開会式 八月十六日 代々木

●一回戦 (学習院大)

五・中46 (22-28) 44根上中

●準々決勝 (代々木第一体育館)

五・中57 (23-22) 61松江四中

(中国代表)

選手の実力、ゲームの運び、各方面の応援、とによって全国ベスト八にランクされる成績を残すことができた。今後、この貴重な体験を生かし高度を技術を身につけたスマーティストに加えて「士気」をつけ、たくましさ」に満ちたチームの育成に努めたい。

チーム紹介
コーチ 畑沢 正作
監督 山田 敬一
選手 館岡 和人 主将
小浜 明 三年
高藤 政美 三年
三浦 誠 三年
越前 光 三年
館岡 重敏 三年
畑岡 正人 三年
原田 功輝 三年
伊藤 一宏 三年
伊藤 美品 三年
佐藤 至 二年
マネ 鎌田 俊二 (山田記)



《五城目健児の意気を吐く》 全県制覇 (五小) 児童野球

各都市大会を勝ち抜いてきた十六チームが勢揃いしたのは8月10日午前8時秋田八橋球場での開会式。

五城目小学校の選手は体格が群を抜いている。堂々の入場行進である。事実、旭南小との試合の時、相手の応援席から「中学校から選手を借りたのでは?」という声が出た程、その声は立派な体格に対するものほかに、選手自身のこなしや技術や自信に満ちた態度に対するものでもあった。

郡大会の時から五小チームは優勝候補の最右翼であった。そして戦績や試合内容から県大会でも優勝候補の一つに数えられた。そうした前評判は重圧感となるが五小ナインは実力を出し切り敢闘した。酷暑の8月10、11日両日の熱戦と優勝までの経過を簡単に報告してみたい。

●第一試合 (5回コールドゲーム)
東館小310000 4
五城目0254112
大館地区代表東館小はよく野球を叩いてるまどまりのあるチームであったが、3回に火を吹いた五小の打棒の前にはもろかった。

●第二試合 (5回コールドゲーム)
旭南小130000 4
五城目081311 13

秋田市代表らしい細かい試合をする旭南だったが、五小の力には通用しない。五小の長打力に屈する。第一日目のコールド勝ちは五小だけ。しかも二試合ともコールド勝ちで、ますます優勝の自信を大きくする。



「選手」 伊藤一浩 伊藤 巧 尾形秀樹 宮田裕司 小林陽悦 藤原英樹 島山武春 本間 均 小野 文 門間良雄 小玉史男 錦織則彦 工藤正広 武田 栄 児玉徳也

●準決勝
五城目3000000X 3
大曲小00100000 1
(五) 伊藤一 伊藤巧
(大) 小西、鈴木、小西、小松
本塁打 伊藤一 (五) 小松 (大) 三塁打 伊藤一 (五) 小松 (大) 大曲は二年連続優勝し三連覇をねらってよく訓練され、無敗をほこっていた。五小は初回大曲小西投手の立ちあがり、伊藤一投手のランニングホームランなどで3点をあげた。その後小西投手の軟投を攻めあげたが、伊藤投手の好投で大曲の反撃をわずか一点におさえ、決勝に進出した。

●決勝
船越小00240000 6
五城目2300051X 11

二塁打 尾形 (五) 米屋 (船)
初回2回と5点をもぎとった五小は3回4回好球をそろえたところを打たれ、エラーなどが重なって逆転された。しかし、同安打四球と好走塁によってまたもや逆転。結局は本塁を踏んで、打出場、伊藤勝利の冠にすがりたこの試合やや不安定な本塁打線、下位打線がカバーして相手チームに打ち勝ったといえる。

五城目小チームは投、打、走、守とよくバランスのとれたチームで、特に一人で投げ抜いた伊藤投手の剛速球と切れ目のない長打力のある打線の力強さが目についた。体力33度を越す暑さにも負けぬスピードと精神力が、全県制覇に結びついたといえる。(小野)



おしらせ

塵芥収集についてのお願い

最近また各家庭からの「ごみ」の排出方法等で、いろいろ決められている通りでないものがあるため、ルールに従って排出されますようご理解と協力を願います。

◎「標箋」をつけるように

町指定のポリ袋を使用すると、問題は無いが、ダンボール等他の容器に入れて排出する場合は、不燃・可燃ごみとも、町指定の「標箋」をかきつけてください。

◎「みは燃・可燃をわけて

ごみは不燃・可燃物をわけて出すことになっておりますので、バラの場合は収集できないことになり、

◎「みは燃・可燃をわけて

ごみは不燃・可燃物をわけて出すことになっておりますので、バラの場合は収集できないことになり、

◎「みは燃・可燃をわけて

ごみは不燃・可燃物をわけて出すことになっておりますので、バラの場合は収集できないことになり、

《あなたの本棚》

- 五城目町文庫「公民館」に新しい本が入りました。気がるにご利用ください。
- ▽愛の風土と人生(一次次郎)
- ▽化石を語る(尾崎博)
- ▽生活と国土(坂野重信)
- ▽現代PTA入門(平湯一仁)
- ▽野鳥と共に(中西悟堂)
- ▽世界の民謡をさずねて(江波戸 昭)
- ▽日本の神話(永田義直)
- ▽子ども性と教育(詫間晋平)
- ▽幼い性と教育(詫間晋平)
- ▽日本芸能の世界(林屋辰三郎)
- ▽私の音楽談義(芥川也寸志)
- ▽ママの育児手帖(浅見薫子)
- ▽人生を楽しむ(渡辺栄一郎)
- ▽ダンス入門(中川三郎)

で、正確にわけていなければならぬと焼却炉の「破損」にもなり、

◎ 残飯類はよく水分をとって、残飯類は流しの水切り等でよく水分をとり、可燃ごみに混合して出してください。特に最近では果物の皮等が多く燃焼しないので困っております。

◎ごみの集積所を明確に

ごみの集積所は町内、部落の責任において定めてください。責任の所在は役場(保健課)に報告して、集積所の表示板を受け取り明示してください。

生産調整奨励金について

四十八年度の米生産調整奨励金は、昨年と同じ一割当たり六八円になっておりますが、このうち概算払いとして八月九日に各生産農家の口座のある金融機関に一割当たり四〇円が払い込まれておりますので確認してください。

基準反収が四八〇粒の田を1アール休耕した農家の場合を例にとり、

四八〇粒×四〇円で一九、二〇〇円が払い込まれているはずですが、

また十二月に予定されている精算払いは四八〇粒×二八円で一三、四四〇円が払い込まれます。

なお、転作や通年施行等の加算金は、精算払いのときに払い込まれることになっております。

身障協会ポリーニング大会

五城目町身体障害者協会(会長佐川直蔵)では八月十七日午前十時より、五城目グリーンボールに於てポリーニング大会を開催した。

大部分の人はポリーニング場へ入るの始めてのこととて最初はコワゴワとボールを投げては、だんだん得点があがり次第真剣となり十ゲームを終了して尚物足りない顔が多かった。

当日の出席者は五城目地区九名、馬場目地区二名、富津内地区四名、内川地区四名、大川地区三名、合計二名で優勝五城目筒井兼五郎、二五二点、準優勝一岡卯一郎、二一〇点、三位馬場目石川修太郎、一九八点、四位内川沢田石林之助、一七八点、五位富津内伊藤徳一、一七五点、一位より三位までは五城目町長より立派なトロフィーが授与された。

広報の写真と原稿を募集します

月一回みなさんにお届けしている広報を、みなさんともどもに育てあげて行くために、みなさんのご意見や原稿(ヤング登場、サロシ)を募集しております。ふるって応募ください。なお、カメラ

ラをとおしてほばえまじい計画です。ツブ風景を載せたい計画です。のご協力をお願いします。

旅行研修会

本町若年母子世帯の方で構成されている「ひまわり会」(会長長月藤トキ)では、八月五日親子づれで男鹿方面の研修旅行を実施した。当日は朝が小雨がパラついてはがしいが、バツがあがり絶好の研修日和だった。午前八時十分五城目駅前を出発(貸切バス)大湯村、寒風山、八望台、入道崎、(昼食)戸賀、水族館、門前、船川港、船越、五城目と午後五時十分まで一同無事に帰町したわけですが、子どもたちは始めて見る水族館の魚類を丹念に観察したりいろいろ特徴をメモしたりしてゆつくり研修会。また水族館を出てからはきれいな岩礁の間でスカートをまくつたり、海水着を着てはカニや貝をとって浜辺での遊びが母子に時のたつたのを忘れさせるまで本当に有意義な一日であった。

日まわり会

二十という数を、「はたち」と読めるようになったのはいつ頃のことからであつたらうか。小学校で教えらるる数字は、二十まではデイスカッションし、そこに生れた場面に「はたち」として大に意義のあることと思う。

現に我々が、今年迎えるのが成人式である。成人とは、人間の生きていくうちの大きな区切りであり、大きなステップ台となるべきものなのである。成人ということについて、選挙権も与えられるし、飲酒、喫煙とも許されるわけである。同時に、大きな責任も課せられるのである。つまり、社会に対する、その人個人の自覚の目であり、いこうと思つていのである。そして、その中に大きな感動を得るおとなの目を見た、社会への批判なり、評価を持ち、社会活動の中に参加していかなくてはならないのである。今まで学生時代に考えられてきた「社会が悪いんだ」とばかりも言つては、我々も社会の一員として何んらかの形で、社会の悪いところは、我々の力で少しづついいから改善していかなくてはならないのである。「おとな」とは？と考えるのも、この成人式という儀式が、我々にとって一番の刺激になると思う。我々

善意銀行預託のお知らせ

このほど左記のように善意銀行へ預託がりましたのでお知らせします。

- 一、金三万円 落合 伊藤 昇

(亡父伊藤源一郎般香典返し)

●町の福祉事業へ役立てて下さい。誠にありがとうございます。厚くお礼申上げます。

善意銀行五城目支店

ヤング登場 はたちに思う



大川 佐藤 昌

は今、青春の真只中にある。その自分自身をいかにして、その青春時代を思う存分、青春という新鮮さにあふれた、悔いのない青春時代にできるかということに對してである。

まず最初に、我々がしなければならぬことは、若者としての連帯意識を強めるための「仲間づくり」であると思う。とかく世の中が自分自身のことしか考へない時代になってきてはいるが、「悩みを共有する」というのは、昔のシンボルと言われ、お互いの悩みを打ち明け合い、お互いのカッションし、そこに生れた場面に「はたち」として大に意義のあることと思う。

我々が、今年迎えるのが成人式である。成人とは、人間の生きていくうちの大きな区切りであり、大きなステップ台となるべきものなのである。成人ということについて、選挙権も与えられるし、飲酒、喫煙とも許されるわけである。同時に、大きな責任も課せられるのである。つまり、社会に対する、その人個人の自覚の目であり、いこうと思つていのである。そして、その中に大きな感動を得るおとなの目を見た、社会への批判なり、評価を持ち、社会活動の中に参加していかなくてはならないのである。今まで学生時代に考えられてきた「社会が悪いんだ」とばかりも言つては、我々も社会の一員として何んらかの形で、社会の悪いところは、我々の力で少しづついいから改善していかなくてはならないのである。「おとな」とは？と考えるのも、この成人式という儀式が、我々にとって一番の刺激になると思う。我々

二十という数を、「はたち」と読めるようになったのはいつ頃のことからであつたらうか。小学校で教えらるる数字は、二十まではデイスカッションし、そこに生れた場面に「はたち」として大に意義のあることと思う。

現に我々が、今年迎えるのが成人式である。成人とは、人間の生きていくうちの大きな区切りであり、大きなステップ台となるべきものなのである。成人ということについて、選挙権も与えられるし、飲酒、喫煙とも許されるわけである。同時に、大きな責任も課せられるのである。つまり、社会に対する、その人個人の自覚の目であり、いこうと思つていのである。そして、その中に大きな感動を得るおとなの目を見た、社会への批判なり、評価を持ち、社会活動の中に参加していかなくてはならないのである。今まで学生時代に考えられてきた「社会が悪いんだ」とばかりも言つては、我々も社会の一員として何んらかの形で、社会の悪いところは、我々の力で少しづついいから改善していかなくてはならないのである。「おとな」とは？と考えるのも、この成人式という儀式が、我々にとって一番の刺激になると思う。我々